

## 2024年8月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月26日

上場会社名 株式会社マルク 上場取引所 東  
コード番号 7056 URL <https://maruc-group.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 順哉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 武智 弘泰 (TEL) 089(989)1009  
中間発行情報提出予定日 2024年5月27日 配当支払開始予定日 ー  
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期中間期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

## (1) 連結経営成績

(％表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期中間期	362	37.6	3	ー	24	ー	9	ー
2023年8月期中間期	263	ー	△59	ー	△36	ー	△36	ー

(注) 中間包括利益 2024年8月期中間期 14百万円(ー%) 2023年8月期中間期 △37百万円(ー%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期中間期	13.11	ー
2023年8月期中間期	△52.50	ー

(注) 当中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前中間連結会計期間の潜在株式調整後1株あたり中間純利益は、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期中間期	570	41	5.5
2023年8月期	557	26	4.0

(参考) 自己資本 2024年8月期中間期 31百万円 2023年8月期 22百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	0.00	0.00	0.00
2024年8月期	0.00	ー	ー
2024年8月期(予想)	ー	ー	ー

(注) 2024年8月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	809	40.0	41	ー	58	ー	46	ー	64.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 、除外 —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期中間期	700,000株	2023年8月期中間期	700,000株
2024年8月期中間期	—株	2023年8月期中間期	—株
2024年8月期中間期	700,000株	2023年8月期中間期	700,000株

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 3 ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における我が国の経済は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しています。しかしながら、その一方でロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰や急速に進行した円安等の影響による物価上昇もあり、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは就労継続支援A型事業・放課後等デイサービス事業・自立訓練（生活訓練）事業を中心に、既存事業所での利用促進と食品ロス削減プロジェクト運営等の活動を進めてまいりました。また、障害者雇用納付金制度に基づく報奨金等による収入 19,720 千円を営業外収益に計上しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は 362,077 千円（前年同期比 37.6%増）、営業利益は 3,515 千円（対前年同期は 59,718 千円の営業損失）、経常利益は 24,456 千円（前年同期は 36,923 千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は 9,177 千円（対前年同期は 36,750 千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (障がい福祉事業)

障がい福祉事業におきましては、それぞれの事業所において利用者数及び稼働率が向上することにより、売上高は堅調に推移しました。

当中間連結会計期間の外部顧客への売上高は 317,317 千円（前年同期比 23.3%増）、セグメント損失は 17,239 千円（前年同期は 56,913 千円のセグメント損失）となりました。

## (ソーシャルビジネス事業)

C02 削減及び食品ロス削減プロジェクトの運営に関する業務を行っております。

当中間連結会計期間の外部顧客への売上高は 44,759 千円（前年同期比 672.6%増）、セグメント利益は 20,754 千円（前年同期は 2,804 千円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、530,650 千円（前連結会計年度末は 522,257 千円）となりました。売掛金が、15,195 千円増加したことが主な要因であります。

## (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、39,402 千円（前連結会計年度末は 34,919 千円）となりました。リース資産が、6,797 千円増加したことが主な要因であります。

## (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、122,009 千円（前連結会計年度末は 111,901 千円）となりました。未払法人税等が 5,923 千円増加したことが主な要因であります。

## (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、406,935 千円（前連結会計年度末は 419,119 千円）となりました。長期借入金が、18,219 千円減少したことが主な要因であります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、41,107 千円（前連結会計年度末は 26,156 千円）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益が 14,950 千円となったことが主な要因であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、402,742 千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益 22,798 千円、減価償却費 5,545 千円等を計上したことにより、18,897 千円のプラス（前年同期は 33,133 千円のマイナス）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 3,726 千円等により、3,786 千円のマイナス（前年同期は 99,294 千円のプラス）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出 18,761 千円等により、19,133 千円のマイナス（前年同期は 43,354 千円のプラス）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期の業績予想につきましては、2023年10月27日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406,765	402,742
売掛金	105,450	120,645
その他	10,041	7,261
流動資産合計	522,257	530,650
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,698	14,200
リース資産（純額）	—	6,797
その他（純額）	3,799	3,409
有形固定資産合計	16,497	24,406
投資その他の資産		
投資有価証券	311	371
敷金及び保証金	13,906	10,495
その他	4,203	4,127
投資その他の資産合計	18,421	14,995
固定資産合計	34,919	39,402
資産合計	557,176	570,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	37,657	37,115
リース債務	—	1,361
未払金	33,997	35,626
未払費用	32,732	32,297
未払法人税等	1,925	7,848
未払消費税等	3,326	5,046
その他	2,262	2,714
流動負債合計	111,901	122,009
固定負債		
長期借入金	419,119	400,900
リース債務	—	5,459
その他	—	576
固定負債合計	419,119	406,935
負債合計	531,020	528,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	155,000	15,000
利益剰余金	△142,439	6,738
株主資本合計	22,560	31,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58	△59
その他の包括利益累計額合計	△58	△59
非支配株主持分	3,655	9,428
純資産合計	26,156	41,107
負債純資産合計	557,176	570,052

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## ①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	263,105	362,077
売上原価	223,911	243,480
売上総利益	39,194	118,597
販売費及び一般管理費	98,912	115,081
営業外利益又は営業損失(△)	△59,718	3,515
営業外収益		
受取利息	205	0
助成金収入	22,595	19,720
その他	654	2,285
営業外収益合計	23,455	22,005
営業外費用		
支払利息	659	1,064
営業外費用合計	659	1,064
経常利益又は経常損失(△)	△36,923	24,456
特別損失		
減損損失	—	1,657
特別損失合計	—	1,657
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△36,923	22,798
法人税、住民税及び事業税	962	7,848
法人税等合計	962	7,848
中間純利益又は中間純損失(△)	△37,885	14,950
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,134	5,773
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△36,750	9,177



## ②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△37,885	14,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△1
その他の包括利益合計	△34	△1
中間包括利益	△37,919	14,950
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△36,785	9,177
非支配株主に係る中間包括利益	△1,134	5,773

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	92,500	72,500	△87,940	77,059
当中間期変動額				
減資	△82,500	82,500		—
親会社株主に帰属する 中間純損失（△）			△36,750	△36,750
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）				
当中間変動額合計	△82,500	82,500	△36,750	△36,750
当中間期末残高	10,000	155,000	△124,691	40,308

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△16	△16	—	77,042
当中間期変動額				
減資				—
親会社株主に帰属する 中間純損失（△）				△36,750
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）	△34	△34	2,865	2,830
当中間変動額合計	△34	△34	2,865	△33,919
当中間期末残高	△50	△50	2,865	43,123

当中間連結会計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	10,000	155,000	△142,439	22,560
当中間期変動額				
剰余金処分		△140,000	140,000	—
親会社株主に帰属する 中間純利益			9,177	9,177
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）				
当中間変動額合計		△140,000	149,177	9,177
当中間期末残高	10,000	15,000	6,738	31,738

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△58	△58	3,655	26,156
当中間期変動額				
剰余金処分				—
親会社株主に帰属する 中間純利益				9,177
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）	△1	△1	5,773	5,773
当中間変動額合計	△1	△1	5,773	14,950
当中間期末残高	△59	△59	9,428	41,107

## （4）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）	当中間連結会計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前 中間純損失（△）	△36,923	22,798
減価償却費	5,673	5,545
減損損失	—	1,657
受取利息	△205	△0
支払利息	659	1,064
売上債権の増減額（△は増加）	2,432	△15,195
未払金の増減額（△は減少）	△6,845	1,628
未払費用の増減額（△は減少）	△461	△435
未払消費税等の増減額（△は減少）	665	1,720
その他	2,154	3,102
小計	△32,852	21,887
利息の受取額	205	0
利息の支払額	△659	△1,064
法人税等の支払額	△1,017	△1,925
法人税等の還付額	1,188	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,133	18,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△3,726
その他	△705	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,294	△3,786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	60,000	—
長期借入金の返済による支出	△16,646	△18,761
リース債務の返済による支出	—	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,354	△19,133
現金及び現金同等物の増加額（△は減少）	109,515	△4,022
現金及び現金同等物の期首残高	219,720	406,765
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10,000	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	339,235	402,742

## （5）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループは、「障がい福祉サービス事業」と「ソーシャルビジネス事業」の2つを事業としております。報告セグメント別の主な事業内容は以下のとおりです。

名称	事業内容
障がい福祉サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援A型・移行支援事業所（附帯福祉サービスとして指定特定相談支援、就労定着支援も実施）の運営</li> <li>・放課後等デイサービス事業所の運営</li> <li>・自立訓練（生活訓練）事業所の運営 等</li> </ul>
ソーシャルビジネス事業	・CO2 削減及び食品ロス削減プロジェクトの運営に関する業務等

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準じた方法であります。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、量的基準より判断して、当社の報告セグメントは「障がい福祉サービス事業」のみとなるため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、当中間連結会計期間において、量的な重要性が増したため、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「障がい福祉サービス事業」、「ソーシャルビジネス事業」の2区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しており、「4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報」の前中間連結会計期間に記載しております。

## 4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	中間連結損 益計算書計 上額
	障がい福祉 サービス事業	ソーシャルビ ジネス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	257,312	5,793	263,105	—	263,105
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	257,312	5,793	263,105	—	263,105
セグメント間の内部売上 高又は振替高	720	—	720	△720	—
計	258,032	5,793	263,825	△720	263,105
セグメント損失	△56,913	△2,804	△59,718	—	△59,718

(注) セグメント損失は中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)	中間連結損 益計算書計 上額
	障がい福祉 サービス事業	ソーシャルビ ジネス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	317,317	44,759	362,077	—	362,077
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	317,317	44,759	362,077	—	362,077
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,493	—	2,493	△2,493	—
計	319,811	44,759	364,571	△2,493	362,077
セグメント利益又は損失 (△)	△17,239	20,754	3,515	—	3,515

(注) セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)		当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	
1株当たり純資産額	57円51銭	1株当たり純資産額	45円26銭
1株当たり中間純損失(△)	△52円50銭	1株当たり中間純利益	13円11銭

1株当たり中間純利益又は1株当たり中間純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)(千円)	△36,750	9,177
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純損失(△)(千円)	△36,750	9,177
普通株式の期中平均株式数(株)	700,000	700,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 当中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。なお、前中間連結会計期間の潜在株式調整後1株あたり中間純利益は、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。